

過去最高の業績

オリコンサルHD 中期計画前倒し達成も



野崎社長

オリエンタルコンサルタ
ンツホールディングス（H
D）の2019年9月期決
算は、連結売上高が前期比
18・8%増の632億10百

万円となった。営業利益は
24億24百万円（18年9月期
19億85百万円）で売り上げ、
利益とも過去最高を更新し
た。28日に東京都内で開い
た決算説明会で野崎秀則社
長は、25年9月期が目標の
中期経営計画で設定する売
上高700億円、営業利益
30億円の目標を「前倒しで
達成する」との考えを明ら

かにした。
オリコンサルHDは▽イ
ンフラ整備・保全▽防災▽
交通▽地方創生▽海外新規
開拓を重点化事業に設定
する。国内は橋梁の維持補
修業務や防災・減災事業な
ど、海外はフィリピンやス
リランカなどで設計業務受
注した大規模鉄道案件に注
力。業績の先行指標となる

受注高は883億59百万円
（20・8%増）だった。
売上高のうち、国内は3
92億13百万円（17・2%
増）。海外は239億97百
万円（21・6%増）となっ
た。好調な受注環境を背景
に19年9月期の営業利益は
24億24百万円、純利益が13
億44百万円（10億33百万円）
と8期連続で増収増益を達
成した。
20年9月期は売上高63
5億円、営業利益26億50百
万円、純利益16億80百万円
と予想。頻発する自然災害
への対応を含む防災・減災、
地方創生関連の業務に注力
する。海外も鉄道事業で収

益拡大を目指す。
野崎社長は良好な受注環
境により「受注残高が11
85億76百万円もあり、来
期以降も安定した売り上げ
が確保できる」と説明。25年
が目標の中期経営計画を達

成する方策として、社員数
を現在の2550人から3
100人に増やすことを明
かした。人材発掘に向けた
投資も推進し「中期経営計
画に掲げる目標を前倒しで
達成する」とコメントした。